

切り絵のしおり

No. 29

発行：令和 4年 6月15日
日本切り絵百景館
群馬県利根郡川場村谷地
TEL:0278-52-2022
FAX:0278-52-2181

平 章弘 作品集（全国切り絵芸術家協会会員）レイアウト 後藤 徹哉



彼岸花

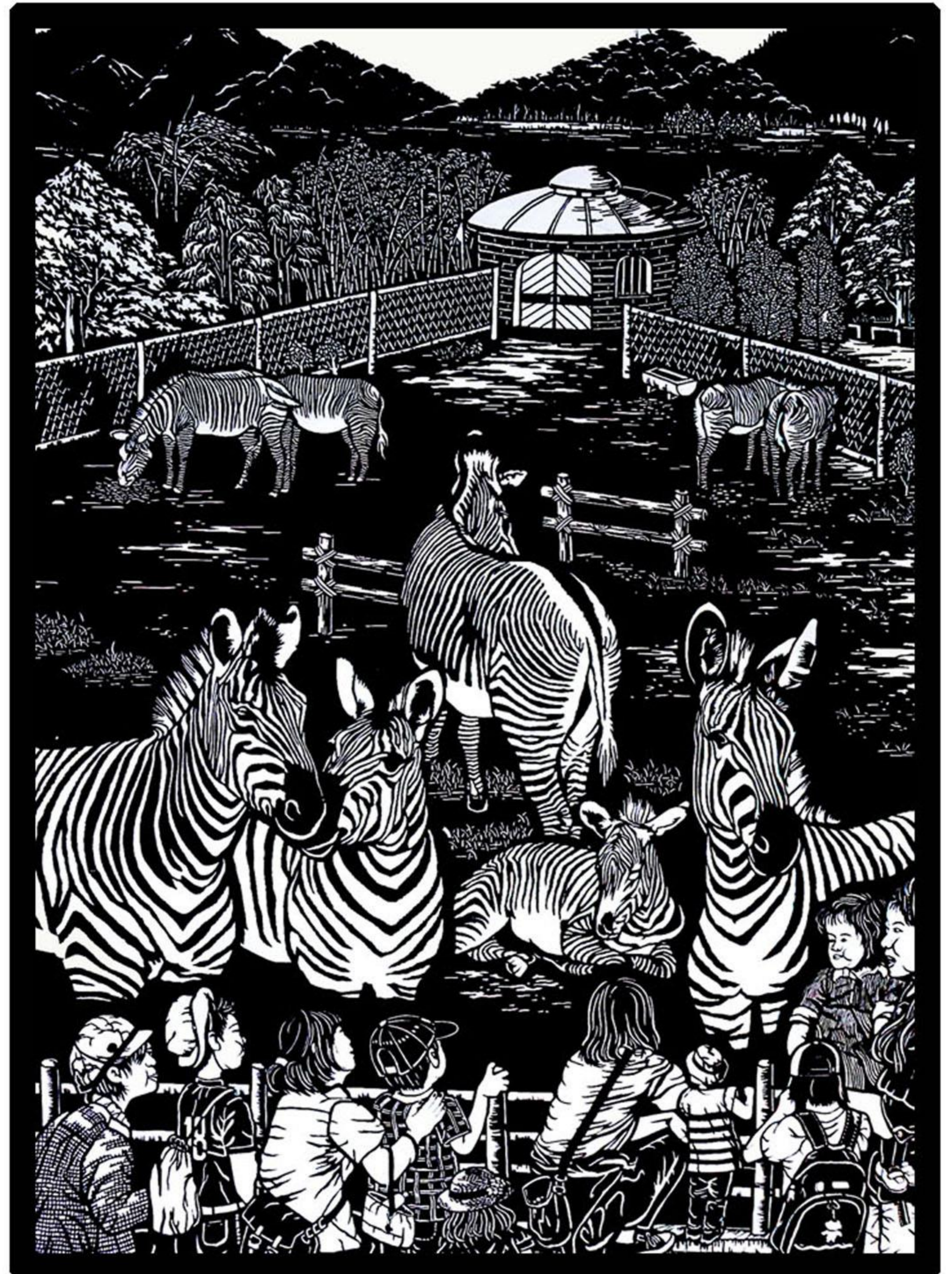
2013年

平 章弘 画歴

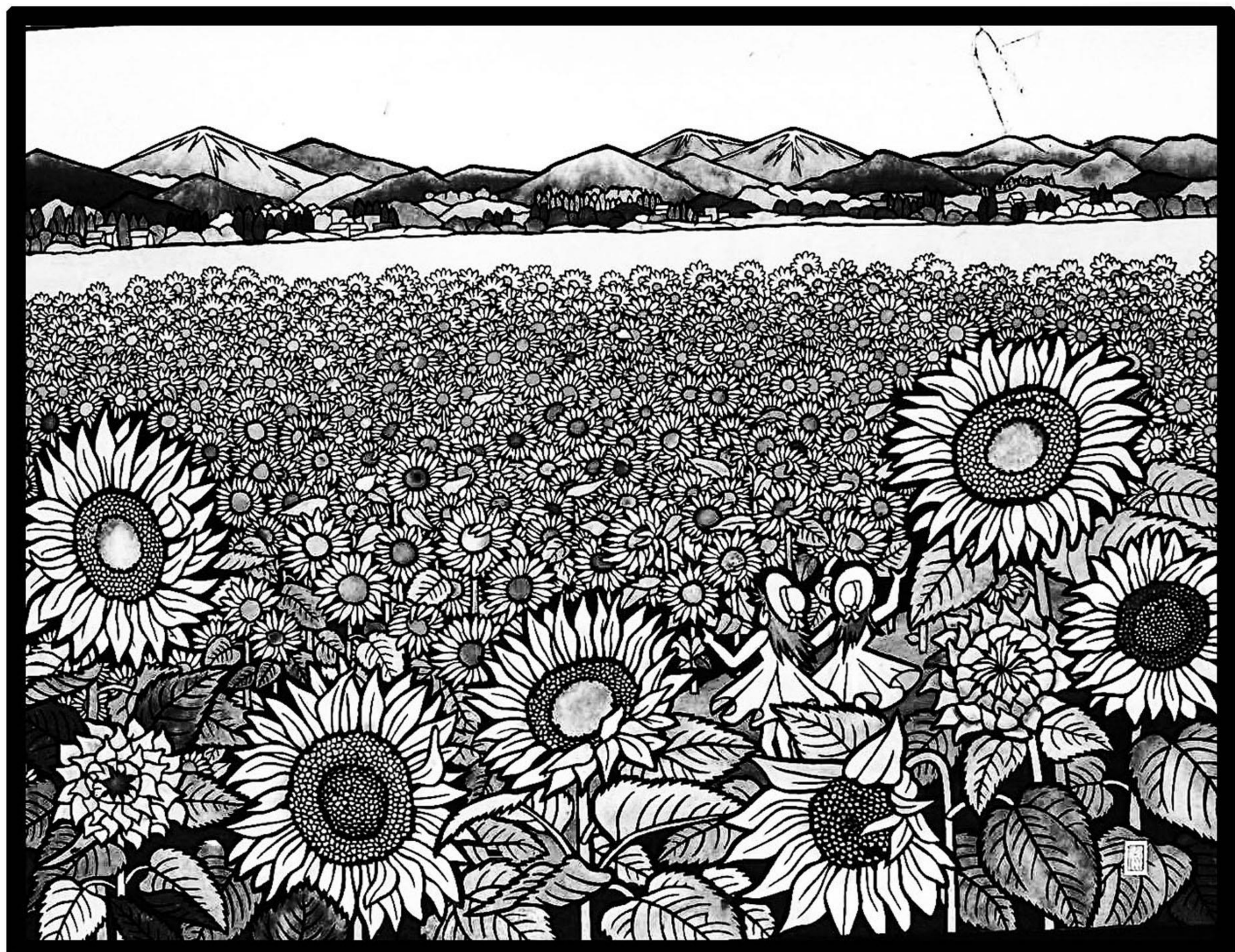
- 2008年～ インターネットで切り絵の存在を知り、2年間ほどネット画像や撮影した写真などを切りまくりました。
- 2010年～ 全国切り絵同好会（本部会員）に入会しました。
切り絵を本格的に学びたくて、自作の絵を持参し百景館を尋ね入会を御願いしました。
- 2010年～ 初出品作が審査員特別賞を受賞し益々励む中で、以後たくさんの優秀賞や入選以上の賞を戴き、私にとって生涯の趣味、特技と感ずるようになりました。
- 2017年～ 明星賞受賞、全国切り絵芸術協会会員となりました。



築地本願寺 2020年



動物園と子供達 2014年



ひまわり畑

2015年

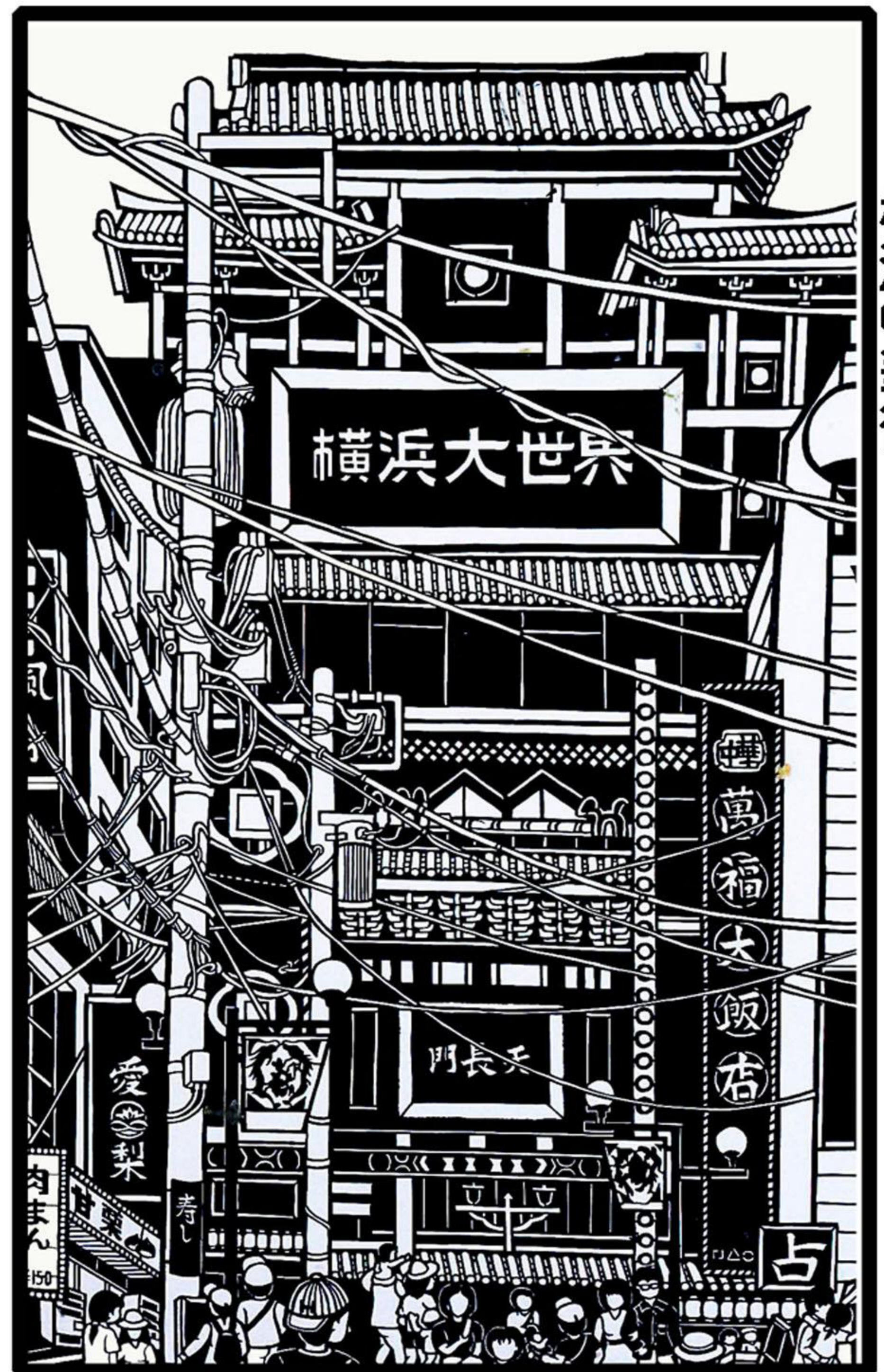


海ほたるパーキング

2020年



高尾山・ケーブルカー車窓 2010年



横浜中華街

2019年



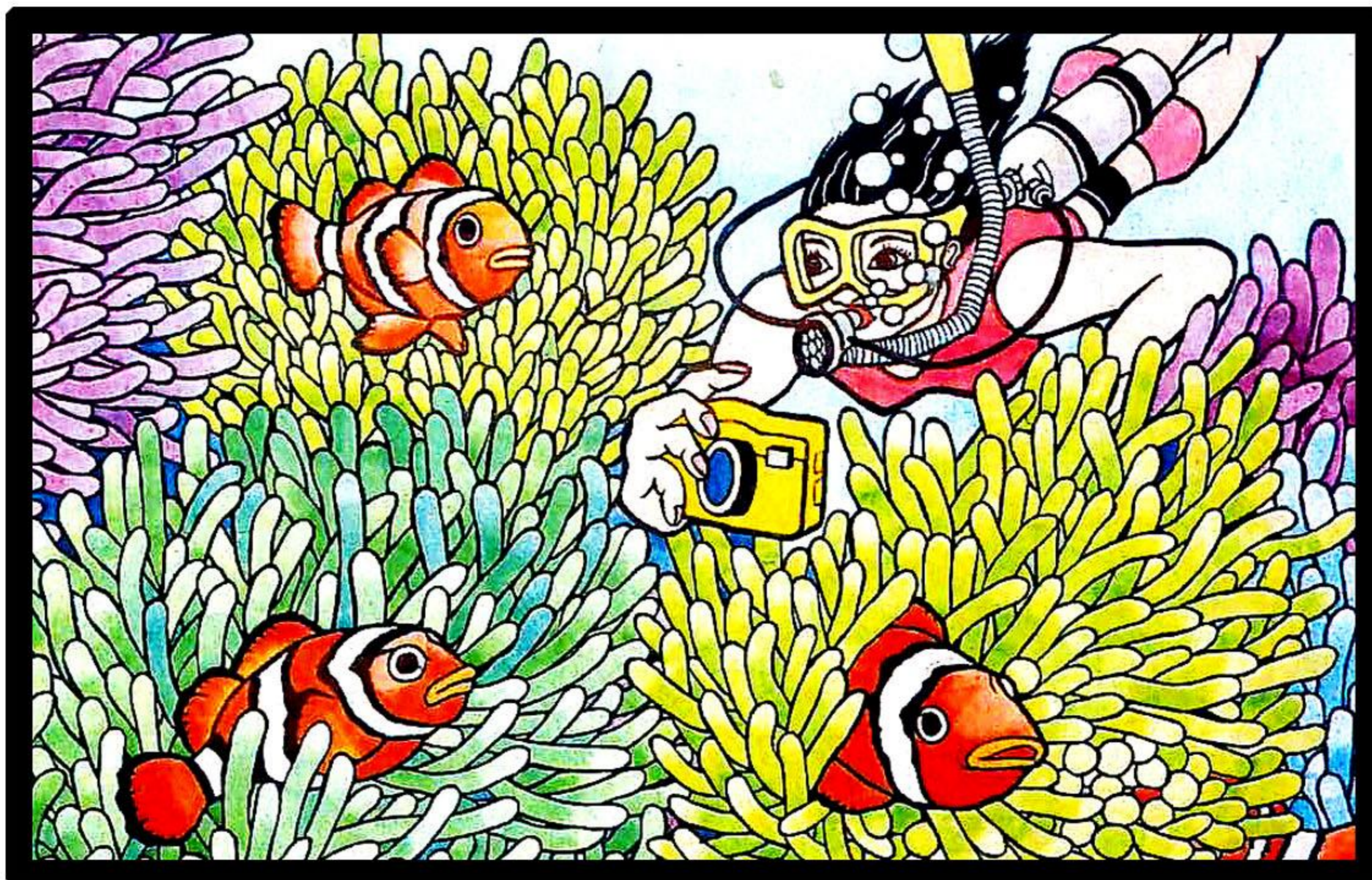
花に舞う

2021年



ほうずきの夜替え

2015年



海中の彩り

2018年



西洋風蝶草（フシメオ）

2010年

切り絵に思う

これまでは書道、水墨画、水彩画など（自己流）で描くことを楽しんできましたが、切り絵はなぜか夢中にさせられ、見るもの何ものが切り抜きたくなります。

特に大河作品の制作の時は、何か自分自身が大きな気持ちや行動を感じる醍醐味さがたまらないです。

コロナで作品コンクールが一時中断されましたが、この間何点か制作しましたが、出展作品でないために、努力や工夫がおろそかになると共に、作品探しに出歩くことが減り自分の弱さがでてしまいました。